

がんばってます神戸の農業 NO. 2 大沢町

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。今回は、北区の大沢町とそこで頑張っている若手農家の山口和也さんをご紹介します。

大沢町

北区の北部にあり、大沢川、善入川を中心にのどかな田園風景が広がり、その田園風景は、神戸らしい眺望景観10選にも選ばれたほど。

農業では、酒米で有名な山田錦をはじめ、野菜・花・酪農のほか、いもほりやいちご狩りなどの観光農業や貸農園である「市民農園」も盛んに行われています。また、イオンモールやフルーツフラワーパークなど近くに集客施設もあり、都市近郊型の農業を目指しています。

また、神戸市長との「パートナーシップ協定」により、住民発意の新しい町づくりをはじめ、光山寺のハイキングを中心とした「エコハイキング」や「どろんこバレーボール大会」が開催されるなど、地域の特色を生かした行事も行われています。

○がんばる若手農業者（山口 和也（かずや）さん 32歳）

☆山口さんは、地元で生まれ育ち、新規就農農家として、3年目になります。

ハウスで約2200本のミニトマトと大玉（桃太郎）を年間2作、ほとんど一人で作っておられます。

☆マスコットキャラクターでもある「山口さんちのハウストマト」という名前で、地元の直売所や農協などで販売され、“甘味のある中にもトマト本来の味がする“という味にこだわり、「山口さんのトマトならうちの子も食べれる！」と言ってもらえるのが、一番嬉しいと笑顔で語っていただきました。

☆もっと技術を身につけ、上質なトマトを作り、消費者と顔の見える関係を今後も築いていきたいという山口さん。

地元を愛し、地域に根付いた農業を目指していきたいと熱く語ってくれた顔は、力強さにあふれていました。

上大沢

榎本会長代理の地元の上大沢集落は、大沢町の南部にあり、農家数は69戸で、そのうち5戸が専業農家で、いちご、とうもろこし、黒豆、さつまいもなどが盛んです。

行事

秋には、上大沢素戔鳴尊社（すさのおみことしゃ）で秋祭りが行われ、宵宮では奴練（やっこねり）、本宮では神輿が担がれ、町を練り歩きます



棚田の風景



光山寺エコハイキング



山口 和也さん



トマトの苗



マスコットキャラクター



上大沢地区の秋祭り（宵宮）